

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 西宮市立北山学園 保護者等数(児童数) 28 回収数 27 割合 96.4 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	26			1	少人数で見ているので確保されています。各教室はもう少し広さがあると使いやすいと思います(体を使った遊びなど)。のびのびと活動ができています。自然の中(園庭)も広いです。	保育室内では園児同士の接触に注意する。また危険な物や不要な物を置いてぶつかることが無いよう、また空間を確保するよう取り組む。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	25			2	細かいところまで見て頂けて感謝します。	配置基準は満たしている。各職種の研修参加や職種どうし、また職種間での意見交換を日常的に行う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	23	2			2 車いすの方へのバリアフリーはなされていないと思う。バリアフリーではない。トイレも広く、子どもがやりやすい。	バリアフリーは、2階への階段の解消は構造上困難。バリアフリーについては必要とする園児には代替の手段を講じるよう努めている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	24	3			老朽化のためどちらとも言えませんが最大限にはされていると思います。シャワーを浴びさせる場所が荷物置きになっているのが気になりました。建物に古さを感じるのきれいなになればと思います。部屋もホールも広々してのびのび活動できています。	シャワーを浴びる場所に基本的には物を置いていないが、一時的でも基本的に置かない。女子更衣室のシャワー、もしくは園児トイレ内のシャワーと思われる。園児のトイレは整えている。シャワー台にオマルを置いている時がある。つるしたり所定の場所があると良い。またその横に衛生用品が雑然と置いているので整理した方が良い。シャワー台にオマルを置くことがある。後で洗う人が分かるよう意図的に置いているが、改める。所定の場所を決めた方が良い。また衛生用品のおき場所の整理整頓も考えた方が良い。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	27					継続して行う。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	26			1		継続して行う
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	27				少人数で見ているので確保されています	担任が中心になって行う。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	26			1	子どもたちが飽きないように工夫されています。家では出来ない活動プログラムがたくさんあります。	他グループの保育に参加したり、合同での保育を行っている。また保育の場面を撮影しビデオを使っでの検討会を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	6	4	11	コロナの影響もあると思うので今年度は仕方ないとも思います。今年度はコロナの影響で機会がなかった。コロナの影響でそのような機会がなくて本当に残念です。コロナ渦中ということもあり機械自体を設けることが難しかったと思います。色々大変な中、よくしてくださっていると思います。コロナ禍で今までと同じような交流は難しいと思いますが、子どもたちにとって良い刺激になると思うので何か交流の機会があれば良いなあ、と思います。	新型コロナウイルスの状況により再開していく。新型コロナウイルスの影響だったが、来年度は予定していく。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	24	3			ほとんど書面のみになっていると思います。	入園時に口頭で説明している。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	27				学園での本人の様子から丁寧に支援内容の説明がされており、親も一緒に対応できます。	懇談時の個別支援計画を用いた支援内容の説明を継続する。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	22	1	2	2	問9と同様です。コロナの都合上、面接(支援専門員)の方と電話のみ。	学習会は中止したが、グループ懇談や親子あそびで極力フォローしている。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	27				毎日の生活ノートで理解しています。小さなことでも何かあれば連絡をくださり、そのことで一緒に考えて頂き、安心しています。毎日の生活ノートに園での様子をわかりやすく書いてくださるのでありがたいです。またピンクノート(連絡ノート)や月の支援でさらに詳しく教えて下さるので、発達や課題が分かりやすいです。毎日園の様子を記載してもらいよくわかります。	生活ノート、連絡ノートの活用を継続するとともに、保護者来園時の際に子どもの様子や家庭での様子についてコミュニケーションを図る。
適切な支援の提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	27				コロナ自粛で休んだ時はお電話で支援してもらい助かりました。	個別面談を年3回、発達相談を年1回実施している。また随時の相談や、欠席時のお電話で困ったことなどを聞けるよう取り組んでいる。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	13	9	3	2	問9と同様です。コロナの影響で中止が多かった。自粛続きだったのでこれからだと思います。コロナの影響であまり活動がありません。すごく助けて頂いて感謝しています。今の時期(コロナで)仕方ないことだと思います。コロナの中、集まる機会は少なくとも、ライングループでの活用により情報発信して頂いている。	新型コロナウイルスの状況により再開していく。新型コロナウイルスの影響だったが、来年度は感染対策を取りながら可能な方法を検討し予定していく。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	27				ピンクノート(自由記載用ノート)があるので相談や申し入れがしやすく、相談後はすぐに対応して下さるので心強いです。どんな小さなことでも話を聞いて対応してくれます。	生活ノート、連絡ノートの活用を継続する。担任を中心に相談を受け、必要に応じて心理士等の専門職と連携する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	26					日々の生活ノート、連絡ノートの他、メールや配布物を活用して細やかに情報伝達を行っている。今後も改善を図りながら継続する。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	25	1				毎月の園だよりの発行を行っている。自己評価結果についてはホームページで講評している。ホームページの更新を行事等の後に行うよう取り組む。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	19	3		4		持ち物の入れ間違いに注意する。また一斉メールの送信方法の工夫を行う。保護者が園に来ている時には他の保護者との会話が聞こえている可能性があるので意識する。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	23		1	2		今年度は保護者会でマニュアルを説明していないので、周知方法を検討し実施する。新入園児については入園時前の説明を行っている。火災対応訓練を月1回、不審者対応訓練は年6回、地震対応訓練を年1回実施している。感染対策の学習会は年2回実施している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	25			1		火災対応訓練を月1回、不審者対応訓練は年6回、地震対応訓練を年1回実施している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	26					今後も職員間で話し合い、子どもたちが期待できる内容を検討する。
	23	事業所の支援に満足している	26				大変よくして頂いていると感謝しています。	今後も職員間で話し合い、子どもたちが期待できる内容を検討する。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。